



《感想文》「シンシユン」を読んで

アクトン 中一

私が『シンシユン』を読んで思ったことは、この二人は本当に仲が良いんだなということと、シインタとシユンタの関係が気まづくなってしまう時は、二人の気持ちに分かった気がしました。

この物語に出てくるシンシユンコンビは、赤の他人なのに、見た目も考えていることも全て同じで、まるで双子のようです。それが二人が仲良くなったきっかけなのですが、その関係性をこわしてしまふ理由にもなってしまいます。それでも、二人はお互いが思っていることをしっかり感じとっていい、仲直りすることができました。これは、普通に仲が良いほどの関係では起こりません。一日の大半をいっしょにすごし、お互いがお互いのことを思い、理解し合えているからこそできたのです。

そして、二人の関係性が気まづくなったとき、二人の感情に同感することが多々ありました。なぜなら、私も同じような場面を経験したことがあるからです。シンシユンほどではないけれど、仲が良かった友達と、ある日第三者の子が言ったことをきっかけに離れていってしまい、結局もどることはありませんでした。『シンシユン』を読んでそれを思い出していたとき、シユンタのように勇氣を出して話にいけばよかったです。私も思いました。

このようなことから、私はこの『シンシユン』という物語が好きです。友達同士の関係性をよく表しているの



で、友達と気まづくなってしまうとき等に読んでみると仲直りの方法が見つかるかもしれません。

【評】そっくりだから「そ仲良くなり、そっくりだから」そ気まづくなった二人。気まづくなってもなお、お互いのことを思っていた二人の気持ちを讀み取ることができました。作品を通して、友情のあり方を考えることができましたね。

《生活文》私は見た！

アクトン 日五

学校からの帰り道、うちの猫のゆずともう一匹の猫がなかよくあそんでいるのを、見た！私はとてもうれしくていっしょにあそぶことにした。でもゆずは家猫なのでここにいたらいけないし、あぶない。だから私はゆずをだっこして家に走ってもどった。ゆずはとてもかわいそうだったけれど、私のしたことは正しいことだった。すると、あそんでいた猫が私たちをおいかけてかいだんを上がってくるのが見えた。にげようとして走ったら、かいだんからおちてしまった！ゆずもどこかへ走って行ってしまった！次に気がついたときには、朝でゆずが私の顔をなめていた。ぜんぶゆめだった！

【評】「ゆず」のことが大好きだからこを見てしまったヒヤリとする出来事。ひとひわりある「私は見た！」に引き込まれました。



《日記》キャンピング

メント 小三

「出発するぞ。」
ぼくが大きな声で言いました。家ぞくといっしょに車にのって、ケントにキャンピングに行きました。ぼくは車にのっている間、どきどきしました。

着いてからも、おもしろいことがたくさんありました。まず、自分で物をテントに入れることがおもしろかったです。ぼくは、服とかねぶくろをはこびました。

つぎに、テントの中でねるのがはじめてで、わくわくしました。でも、夜中にちよつときむくてこわかったです。一番心にとっているのは自分で朝ごはんを作ったことです。ぼくはみんなの分のトーストをやきました。みんなでしゃべりながら食べて、すごくおいしかったです。はじめてのキャンピングは、ゆかいでした。つぎは、もっと長くともりたいです。

【評】書き出しを工夫して分かりやすく文章を書くことができたね。気持ちを表す単語を活用しながらキャンピングの楽しい様子が伝わる日記です。



《生活文》うるう年

クロイドン 小三

うるう年は、四年に一回巡ってきます。今年、二〇二四年は、うるう年でした。普通の年は、三百六十五日あります。しかし、うるう年は、三百六十六日あります。なぜなら、地球が太陽の周りを一周するのに、三百六十五日と六時間かかります。四年経つと、六時間掛ける四年で、二十四時間、つまり丸一日分ずれてしまいます。だから、二月に一日分足して、追いつくようにするために、二十九日まであります。

ぼくの友達のヒバは、二月二十九日に生まれました。うるう年に生まれたので、現在二才です。ヒバは、四年に一度しかお誕生日がきません。

【評】文と文をつなげる言葉を正しく使って書けているので、とても内容が分かりやすく伝わってきました。

